

令和4年度 鶴岡市生活支援体制整備事業報告

R5.7.24 鶴岡市 地域包括ケア推進室

生活支援体制整備事業の目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とする。

<第1層、第2層生活支援コーディネーターの役割>

第1層： 鶴岡市地域包括ケア推進室に1名配置し、第1層協議体と連携した新たな生活支援サービスの創出、地域資源の開発やネットワークの構築、ニーズと取組のマッチング、第2層生活支援コーディネーターの支援などを行っている。

第2層： 各地域包括支援センターに1名配置し、担当地域における資源開発やネットワークの構築を行い、地域の関係者による多様な主体間の定期的な情報共有や、連携及び協働による取組みなどを進めるとともに、高齢者等の生活支援の取組みを行っている。また、第1層生活支援コーディネーターとともに住民主体による介護予防や生活支援の多様な担い手を養成し、住民同士の支え合いによる地域づくりを進めている。

<主な活動内容>

- ①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出
- ②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）
- ③鶴岡市地域支え合い活動研修会
～住み続けたい そんな想いをかたちに～ 開催（見せる化の取組）
- ④鶴岡市担い手養成研修会 開催（年2回）
- ⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催（第1層協議体 年3回）

①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出

<令和4年度実績>

- ◆地域の支え合い活動の把握件数： 668件
- ◆新たな地域の支え合い活動の創出件数： 21件

<生活支援コーディネーターが関わり、新たに立ち上がった地域支え合い活動の一例>



～第5学区～
大宝寺町サロン「笑和輪（わわわ）」
（通いの場）



～三瀬地区～
三瀬買い物支援「さんさん」バス
（買い物支援）

②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）



【「和と輪つるおか」表紙】

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し、支え合いの地域づくりについて周知した。

【掲載内容】

- ・鶴岡市の買い物支援
- ・鶴岡市の通いの場の紹介
- ・鶴岡市生活支援コーディネーターの紹介

【発行部数】

5,000部

【配布先】

町内会、自治会、民生児童委員、コミセン 等

③鶴岡市地域支え合い活動研修会

～住み続けたい そんな想いをかたちに～ 開催（見える化の取組）

目的：「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催。

実施日：令和4年11月9日（水）13：30～16：00

会場：メイン会場 出羽庄内国際村 国際村ホール
リモート会場 温海庁舎6階大会議室

内容：第1部：基調講演

「住み慣れた地域で安心して暮らすために」

講師 東北公益文科大学大学院 公益学研究科長 教授 武田 真理子 氏

第2部：活動の発表

「これからの自分たちのために」

発表者 浜っこマルシェ 代表 阿部 麻知子 氏

第3部：パネルディスカッション

コーディネーター

東北公益文科大学大学院 公益学研究科長 教授 武田 真理子 氏

パネリスト 産直さんぜ 代表 鈴木 正 氏

浜っこマルシェ 代表 阿部 麻知子 氏、他2名

参加者数：109人

④担い手養成研修の開催

対象者：地域で自分の力を活かしたい、地域貢献したい方

内容：通いの場の運営や日常生活支援の担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、通いの場の見学

	実施状況	修了者数
第1回	実施期間：令和4年6月16日(木)～17日(金)、7月29日(金) 通いの場見学：令和4年6月21日(火)、30日(木)、7月5日(火)、11日(月)、12日(火)、27日(水) 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議室	16人
第2回	実施期間：令和4年11月21日(月)～22日(火)、12月23日(金) 通いの場見学：令和4年12月6日(火)、10日(土) 会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこふる3階大会議室	3人

<担い手養成研修修了者数>

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	計
44	40	49	30	18	30	19	230

⑤ 鶴岡市地域ケア推進会議開催

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

令和4年度 実施状況

第1回	日 時：令和4年9月26日（月）（出席委員 13名）
	内 容：① 今年度のテーマの決定経過について説明
	② 鶴岡市のごみ出しの現状と課題について説明
	③ 高齢者等のごみ出し支援について事例紹介
第2回	④ 高齢者等のごみ出し支援について協議
	日 時：令和4年12月27日（火）（出席委員 13名）
	内 容：① 地域ケア推進会議の審議会扱いについて説明
第3回	② コミュニティ支援型のごみ出し支援について協議
	③ 時間の制約なくごみを出せる方策について協議
	日 時：令和5年3月28日（火）（出席委員 10名）
内 容：鶴岡市におけるごみ出し支援の方向性について協議	

第2層生活支援コーディネーター 月次活動記録集計 (延べ件数)

	個別支援		地域支援										地域ケア会議			包括・法人内部会議	S C 定例会	その他会議	研修参加	資料作成等事務					
	関係形成	直接支援	連絡調整	関係形成	協議	調査・情報収集	立ち上げ支援	運営支援	地域への働きかけ	サービス創出	担い手養成	マッチング	ネットワーク化	情報発信	連絡調整						事業実施	個別ケア	自立支援型	ネットワーク	推進会議
R 1	58	69	52	536	190	582	456	477	535	67	289	109	3	338	310	132	137	88	125	56	144	119	326	269	659
R 2	45	50	17	608	213	685	104	599	244	8	22	47	7	389	466	176	28	11	105	70	225	154	357	166	1528

	R 3 年度	R 4 年度
新たな地域資源の発見件数	50	33
新たな地域の支え合い活動の創出件数	29	21
広報物の作成件数	116	89
情報発信の取り組み件数	451	436

令和3年度より、月次活動記録の様式を変更

令和4年度のまとめ

- ◆ 「通いの場」や「買い物支援」など、生活支援コーディネーターが関わって新規に立ち上げた地域支え合い活動は、令和4年度21件となっており、生活支援コーディネーターの役割の重要性や認知度が高まりつつある。また、コロナ禍での活動支援のひとつとして、県のモデル事業を活用し、ICT機器を活用した通いの場支援を実施し、今後の活動にもつながる取り組みが行われた。
- ◆ R4年度担い手養成研修会修了者数は減少したが、修了者の中には、第2層生活支援コーディネーターの支援を受け、通いの場を立ち上げた方や、認知症高齢者等見守り支援員として活動している方など、活躍の場へ繋がり、担い手として活躍されている。